

交通死亡事故ゼロ 無火災一〇〇〇日記念入賞作文

交通安全

月瀧小学校六年 長谷川 法考

ぼくは交通安全について、そう深くかんがえたことがなかった。かんがえたらお父さんやお母さんが車で事故をおこさないようにと思うくらいだった。でも先生に交通死亡事故ゼロ千日達成したことを聞いてすごいなあと思った。

それは、どんな村でも千日達成するのはあまりないのにこの月瀧村が千日を達成するということだ。

月瀧村の人びとは、交通安全のルールを守り、気をつけながらにちがいない。きっとポスターや、なにかの「わたるあなたが、子のてほん」という言葉を守っているから。子どもたちも、おやのまねをして、交通事故をなくしたのだと思う。

もし、しんごうむし、とびだしなどで交通ルールを守らなかつたら、千日達成はまず

千日達成の話をきいて、とても交通ルールは大事なんだなあと思った。ぼくはもう六年だし、上級生なので下級生がきけんな所や道路であそんで

交通事故をなくしましょう

月瀧小学校六年 小湊 充子

私は、小さいときに手だけ車にひかれたことがあります。そのときは青くなっただけで、いたみもなく一晩赤チンキをぬっただけでおりました。

この事故は、お母さんに、「車の中でまっていなさい」と言われたのに私がまぢきらずに道路に飛び出したのがげんいんでした。

交通事故防止について

月瀧中学校三年 小林 恵美子

私は、中学三年生のとき、中二の中学校で練習試合をした帰り、急いでいてジャリ道のところで自転車のスピード

をだすすぎ、ハンドルをとられて転んでしまったことがあった。そのとき、ちょうどヘルメットをかぶっていたので頭

にけがはしなかったが、今考えてみるとばかな話だと思ふ。もしもあそこでヘルメットをかぶっていたら、きっと頭を打つたかもしれないと思ふと、ヘルメットのありがたさがよくわかった。それにもしも車飛びだしてきたら、転んだぐらいいのけがだけで済まなかつたかもしれない。

バイクでも、自転車と同じことが言えるだろう。バイクもヘルメットをかぶる必要があるということである。

道路を歩いていると、ヘルメットをかぶっていない人をよくみかける。私も前まではヘルメットをかぶらうとかぶるまいと私には関係ないと、無責任な考えを持っていたが、今ではバイクでもヘルメットは絶対かぶってもらいたいと思ふようになった。特にそう

交通安全について

月瀧小学校五年 金子 由美

私は、交通事故にあつたこともないし、テレビで見ただけのことありません。でも、

水泳に行くときとちゅう、さか道をすごいスピードでおどる女子高生を見ました。その人は、さかの中ほどで自転車の前ハンドルがまがって、ころんでしまいました。

かごの中からノートなどが道路に広がりました。その人はとてもくるしそうで、なきそうな顔で、おなかをおさえていました。私はなにもできませんでした。かわいそうだと思います。

月瀧村は、八月十日で交通死亡事故ゼロ千日たつ成です。これはとてもめずらしくりっぱな成績です。これからも、もっともときろくをのぼすため、みなさんも、交通事故に充分ちゅういして、家族全員、世界全部の人が幸せにくらせますようがんばりましょう。

暴走族だよ。いやだねえ」と言っています。暴走族というのは、命をすてるようなものだと思います。それに、この前も男の人が、二人でバイクに乗ってヘルメットもかぶらず、後ろの人がへんなかけ声をあげていました。それに、もっとすごかったのは、後ろの人が、カーブの所で運転している人の目を、手でおおってしまつたのです。私もおもわず目をつぶってしまいました。

「なんであんなことをするのかなあ。こわくないのかあ。」とあきれてしまいました。交通事故というのは、本当におそろしいものだと思います。お年よりがゆっくりと横断歩道を、わたっているのを見ると、「大丈夫かなあ。急にバイクがきてはねられてし

火事の恐ろしさ

月瀧中学校一年 曾山 麻理子

私は、火災の恐ろしさはよく分らないけど、一回だけ火事になりそうになつたことがあります。

あきたから火を消してゴミ箱に入れるとき、まだ少し火がのこつていて、つばをパッとかけてから捨てたそうです。それが小さい火事になつてしまいました。その時ちょうど、おじいさんが帰つてきて台所にいってみると、火が見えたのでいそいで消そうとしたそうです。二十分から三十分かかつたみたいです。

私はこれから、二つのことを心に刻みつけて注意していきたいと思ひます。

まず一つ、いままでも火事というものを甘く見すぎていたから、火事というものは、怖いぞんざいなんだということ